

盛岡名物

舟っこ流し

花火大会

盛岡市指定無形民俗文化財

岩手県盛岡市仙北1丁目

明治橋上流右岸

※8.16が中止の場合は8.19に順延。
8.19が中止の場合は8.20に再順延
(ホームページに掲載)

◎交通アクセス

※駐車場はありませんので公共交通をご利用ください ※会場は仮設トイレを設置

※堤防が陥没状になっておりますので観覧できませんが、席に限りがあります。

バス 盛岡駅前13番乗り場から乗車、会場そばの仙北町バス停下車(所要15分～)

JR東日本 仙北町駅から徒歩7分(540m)

写真:石井 稔(盛岡市)

令和5年

8月16日(水)

お問い合わせ先 ■ 盛岡舟っこ流し協賛会 電話. 070-5621-6210 <http://moriokafunekkonagashi.com/>

主催/盛岡舟っこ流し協賛会

協賛/盛岡市 公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

舟っこ流し 16:00～

投げ松明 18:30～19:00

花火大会 19:00～19:30

※時間は目安です。実際の進行に従って下さい。

令和5年度 盛岡舟っこ流し 実施順序表

製作・展示場所



1 仙北三丁目町内会

仙北三丁目公民館



2 仙北二丁目自治会

曹洞宗長松寺境内



3 仙北一丁目第一町内会 (青物町)

仙北一丁目(線路を挟んで駒形神社)



4 南大通二丁目町内会

南大通二丁目8-8 駐車場



7 南仙北二・三丁目町内会

小鷹公民館



8 駒形自治会

駒形公民館

9 松尾町町内会

小鷹公民館



6 鉦屋町町内会

大慈寺山門脇

10 立正佼成会

小鷹公民館

10 立正佼成会

立正佼成会内

(舟っこ流し)

町内会が中心となって子供会なども協力して舟を作ります。舟は竜の形をしているものが多いです。お札や遺影を貼り、提灯や供物などで飾りたてます。舟は明治橋上流に集められ、儀式のあと有志がひいて一艘ずつ川へ流され、火をつけます。燃えながら流れる舟は明治橋で燃えつきます。

舟っこ流しの始まりは、今からおよそ300年ほど前、盛岡藩四代藩主、南部行信の七女 麻久子姫が川施餓鬼(かわせがき)の大法事を行ったものとされています。1815年に津志田遊郭の遊女たちが乗った舟が氾濫した北上川で転覆し、溺れ死んだ霊を慰めるため、舟に位牌と供物を乗せて流すようになり、以後盛んに行われるようになりました。

今では祖先の霊を送り、無病息災を祈る行事となっています。

投げ松明



盛岡舟っこ流し 第9回写真コンテスト

- 《作品募集》 盛岡舟っこ流し協賛会では「盛岡舟っこ流し写真コンテスト」の作品を募集します。盛岡舟っこ流しを題材として、祭りを広く紹介出来るものとし、応募作品は舟っこ流しポスターや観光宣伝に活用いたします。
- 《募集要項》 【締切】2023(令和5)年9月末日
【規格】カラープリント4つ切りを原則とします。なお、他の規格にも応じます
【内容】2023(令和5)年盛岡舟っこ流しで実施された行事
- 《受賞》 金賞・銀賞・佳作(いずれも若干)。副賞として賞状および粗品を進呈。なお、ポスターや冊子等に活用させていただく際には撮影者名を記載(紹介)いたします
- 《審査の方法》 盛岡舟っこ流し協賛会、流舟各団体関係者、協賛団体で行います
- 《発表》 2023(令和5)年11月下旬をめどにホームページ上で掲載します
- 《その他》 市内各地でのパネル展示会や仙北地区文化祭で紹介いたします
- 《応募先》 〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北3丁目7-15 盛岡舟っこ流し協賛会 写真コンテスト 係 まで
- 【注意事項】 ①応募作品は未発表のものに限ります ②応募者および枚数に制限はありません ③入賞作品はネガの提供をいただくことがあります ④応募作品は返却しませんのでご了解願います ⑤コンテスト発表の著作権は当会に属します